

福岡商工会議所 地場企業の経営動向調査 (平成11年度第2・四半期)

調査 福岡市内地場企業（一部福岡市近郊を含む）の景況及び経営動向を
目 把握すると同時に、これらの情報を企業側へ提供し、参考に資する
的： ことを目的とする。

調査 従業員が10人以上の当所会員企業1,378社。回収数は719社
対 (回収率：52.2%)
象：

調査 各調査項目につき前年同期と比較した状況などの回答を求めるもの
要 で、今回は平成11年7～9月期の実績、及び平成11年10～1
領： 2月期の予測について9月末時点で調査。

調査 今期(平成11年7～9月期)の地場企業の景況判断指数(DI=前年同
結 期と比べ「良くなった」とする回答割合から「悪くなった」とする
果： 回答割合を引いた数値)の全業種平均は、マイナス41.6となり、前
期比0.5ポイントマイナス幅が縮小し改善した。このところ景況感
の改善傾向がみられるものの、やや回復の兆しが見え始めているも
の、目立った回復には至っていない。

業種別では、建設業でのDIのマイナス幅拡大（前期マイナス46.2→今期マイナス51.9）が目立つほか、他業種ではほぼ横ばいで低調だが、運輸・倉庫業（同マイナス58.6→同マイナス50.0）と製造業（同マイナス39.5→同マイナス35.9）、小売業（同マイナス36.5→同マイナス35.0）ではマイナス幅が縮小し改善した。

項目別では「生産額、売上高、完成工事高」が「減った」と回答した企業の割合（47.0%）が依然高く、また「営業利益」の「減少」と回答した企業の割合は半数を超え（52.3%）ており、個人消費の低迷で売上げが伸びず、また、受注価格競争の激化で採算面での厳しさが依然として続いている。

次期(平成11年10～12月期)の自社景況予測DIについては、全業種平均マイナス25.9で、今期比15.7ポイントの縮小となり、先行き景況感は改善傾向が引き続きみられ、景気回復の期待が感じられる。

詳しい報告書は経済部経済調査グループ(TEL 092-441-1118)でお渡ししております。

地場企業の経営動向調査(平成11年度第2・四半期)

※前年同期比(%)

	平成11年7-9月期実績							平成11年10-12月期予測						
	非常に良くなった	やや良くなった	横ばい	やや悪くなった	非常に悪くなった	未記入	DI	非常に良くなる	やや良くなる	横ばい	やや悪くなる	非常に悪くなる	未記入	DI
全業種	0.4	12.8	31.7	41.4	13.4	0.3	▲41.6	-	17.4	37.4	35.2	8.1	1.9	▲25.9
建設業	0.9	5.7	34.9	38.7	19.8	-	▲51.9	-	10.4	36.8	33.0	17.0	2.8	▲39.6
製造業	-	17.7	28.7	40.2	13.4	-	▲35.9	-	23.8	35.4	31.7	7.9	1.2	▲15.8
卸売業	0.5	14.4	29.6	45.8	9.3	0.5	▲40.2	-	20.8	38.0	34.7	5.6	0.9	▲19.5
小売業	1.3	12.5	37.5	38.8	10.0	-	▲35.0	-	15.0	40.0	37.5	6.3	1.3	▲28.8
運輸倉庫業	-	8.0	34.0	38.0	20.0	-	▲50.0	-	8.0	36.0	44.0	6.0	6.0	▲42.0
サービス業	-	11.7	32.0	40.8	14.6	1.0	▲43.7	-	13.6	38.8	37.9	6.8	2.9	▲31.1
中小企業	0.5	11.7	31.5	41.5	14.6	0.2	▲43.9	-	17.4	36.7	34.8	9.2	1.8	▲26.6
大企業・中堅企業	-	18.0	32.8	41.0	7.4	0.8	▲30.4	-	17.2	41.0	36.9	2.5	2.5	▲22.2

[戻る](#)